

令和5年度進行管理・評価シート
掛川市歴史的風致維持向上計画（平成30年1月23日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 都市計画法との連携	2
2 景観計画との連携	3
3 屋外広告物の制限	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 歴史的街並み調査事業	5
2 歴史的風致形成建造物の保全・活用事業	6
3 松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業	7
4 横須賀城跡復元・活用事業	8
5 高天神城跡復元・活用事業	9
6 高天神六砦「中村砦」保存・活用事業	10
7 郷土芸能・伝統行事伝承事業	11
8 三熊野神社大祭調査研究事業	12
9 祭典伝承PR事業	13
10 葛布産業振興支援事業	14
11 茶手揉み技術伝承事業	15
12 掛川茶マイスター認定制度推進事業	16
13 重要文化的景観の調査研究事業	17
14 掛川道徳の学習推進事業	18
15 城下町風街並みづくり事業	19
16 横須賀景観整備機構運営支援事業	20
17 掛川城周辺電線地中化、道路美装化及び 街路灯修景事業	21
18 横須賀街道電線地中化及び美装化事業	22
19 粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業	23
20 郷土読本作成事業	24
21 文化財展の開催事業	25
22 市内の歴史・文化資産のガイド養成事業	26
23 掛川銀行復元・活用事業	27
24 サイン・案内板設置事業	28
25 レンタサイクルの推進事業	29
26 掛川公園と周辺整備事業	30
27 「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」 周遊道路整備事業	31
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査、保存管理(活用)	32
2 文化財の修理、周辺環境整備	33
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携	34
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	35
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光の振興	36

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	37
-------------------------	----

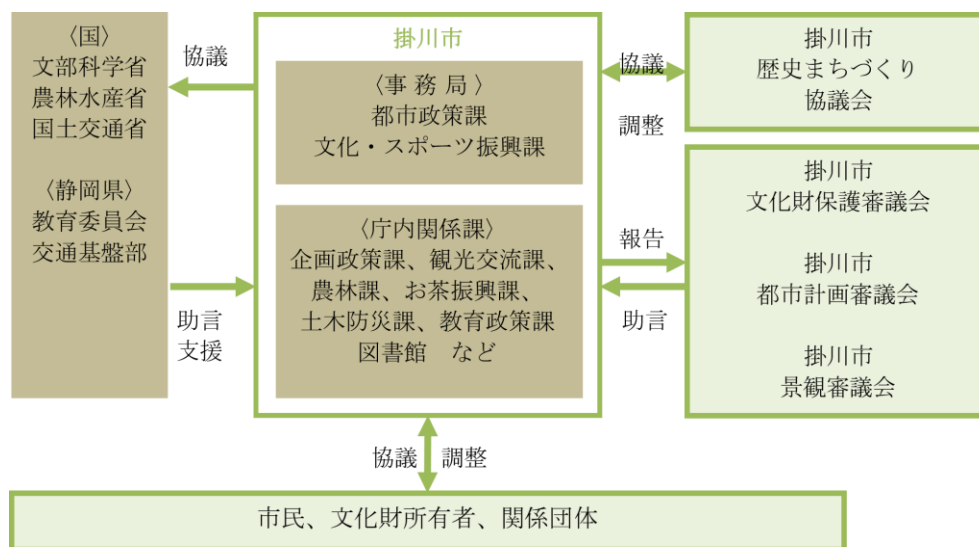
評価軸①-1

組織体制

項目		現在の状況
計画の推進体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の推進体制は、本計画策定に主体的に係わる都市政策課と文化・スポーツ振興課を中心とし、各事業担当課との連携を図りつつ、本計画の総合的かつ効果的な進行を図る。 また、国や静岡県と協議し、助言や支援を得るとともに、掛川市歴史まちづくり協議会と協議し、計画の円滑な実施や計画変更を推進していく。 さらに、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図りつつ、掛川市文化財保護審議会などへ報告し、助言を得ていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
計画策定時の体制を維持し計画的な推進を図った。 令和2年度より、文化財の保護に関する事務を教育委員会から市長部局へ移管し、文化財をまちづくりに活用することで地域の活性化を促進することとした。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.191)



掛川市歴史的風致維持向上計画 推進体制

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
都市計画法との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	用途地域の指定状況を踏まえた上で、適切な土地利用の誘導により、周辺環境との調和に努める。特に価値が高いと判断された建造物群で、保存措置が必要な場合は、伝統的建造物群保存地区の制度の活用も検討していく。「掛川城下地区」では、「掛川市城下町風街づくり地区計画」等により、引き続き歴史的風致と調和した良好な市街地環境の形成を図っていく。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
平成6年（1994年）決定の「城下町風街づくり地区計画」に基づき、掛川駅北地区における城下町風街づくりの推進及び健全な都市景観の形成を図った。 平成6年度から届出実績延べ67件（令和5年度実績なし）			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.200～P.202)



城下町風街づくり重点地区(大手門周辺)



城下町風街づくり重点地区(掛川城南側)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
景観計画との連携		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	掛川市景観計画に基づき、市全域の景観形成の方針と行為の制限を行う。「横須賀城下地区」の一部で指定している「遠州横須賀街道沿道景観形成重点地区」の効果を隣接地域にも波及しており、今後は、景観形成重点地区の拡大についても検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成26年(2014)に指定した「遠州横須賀街道沿道景観形成重点地区」に基づき、建築行為に地区の特性に応じた規制誘導を行った。平成26年度から延べ18件(令和5年度実績4件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.202～P.204)



古民家を改修した店舗



景観に配慮した新築住宅と街並み

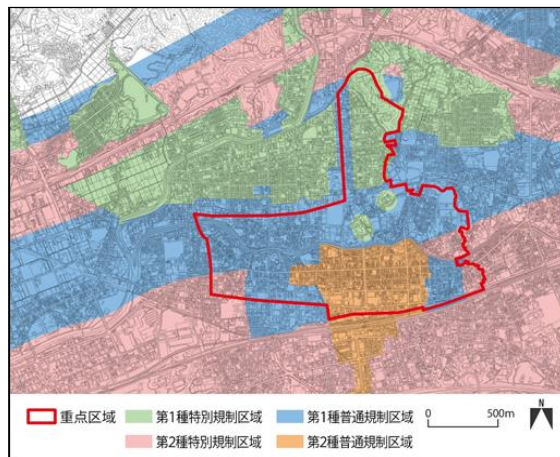
評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

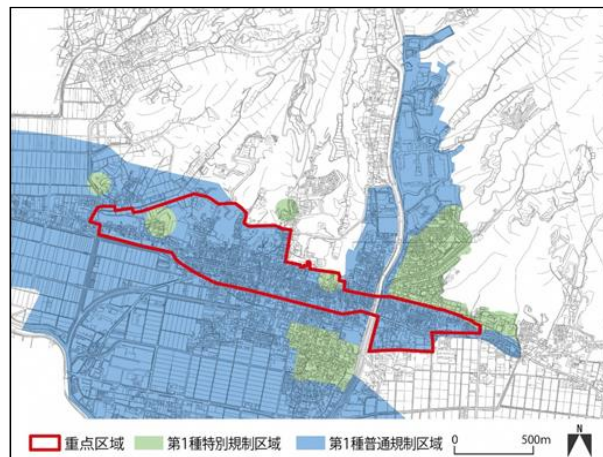
		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
屋外広告物の制限		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	屋外広告物条例の周知や屋外広告物の指導に努めるとともに、本市独自の屋外広告物条例の制定に向けて検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「静岡県屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物に対し規制誘導及び設置許可を行った(令和5年度 365件 3月末見込み)。本市独自の屋外広告物条例は、県条例に基づく違反屋外広告物の指導を進めたうえで、制定に向けた検討を進める。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

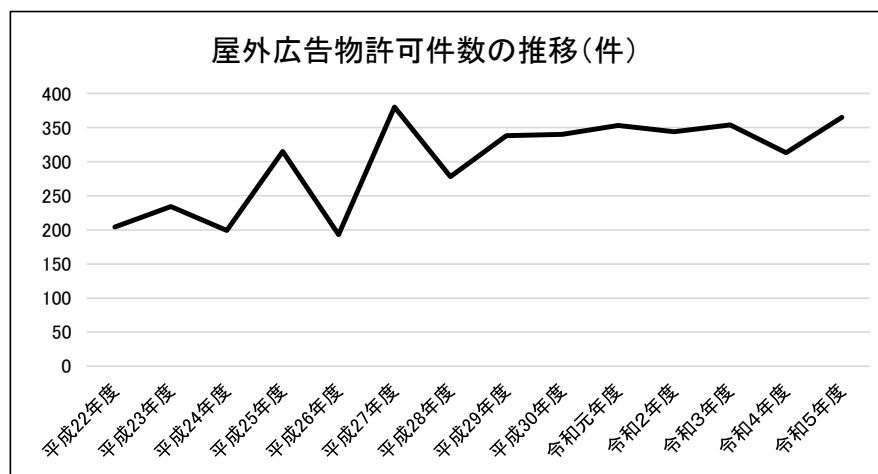
(計画書P.204～P.206)



「掛川城下地区」の規制区域



「横須賀城下地区」の規制区域



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
歴史的街並み調査事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内各所に歴史的な建造物が残っているが、十分な整理がされていないため、建築様式や建築時期などの調査を行い、掛川市景観計画に基づく景観重要建造物及び文化財への指定を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致形成建造物の指定候補の一部(掛川城太鼓櫓、大手門番所)について、庁内関係課で、指定に向けた状況整理、検討を行った。来年度以降、景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物への指定について検討、調整を進める。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.222)

歴史的風致形成建造物の指定候補(一部)



掛川城太鼓櫓



大手門番所

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物の保全・活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業)及び市単独事業		
計画に記載している内容	重点区域内に所在する歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した建造物において、維持保全及び文化・観光資源としての活用を図るために、必要に応じて現況調査、補修などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年4月1日に、松ヶ岡(旧山崎家住宅)を歴史的風致形成建造物に指定し、大規模修復工事を進めている。令和5年度は6月に主屋の修復が完了し、長屋門等の修復工事に着手した。 また、令和3年3月24日に歴史的風致形成建造物に指定した掛川城天守閣、石垣については、漆喰壁、土塀等の修復工事を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.223) ①完成した松ヶ岡主屋 		③漆喰塀施工修復の様子 	
②松ヶ岡長屋門工事の様子 		④土塀施工修復の様子 	

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
松ヶ岡(旧山崎家住宅)保存修理・活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業、街なみ環境整備事業)及び市単独事業		
計画に記載している内容	掛川藩御用達を勤めた豪商山崎家の住宅(松ヶ岡)の修復を行う。また、重要文化財指定を目指すとともに、地域の発展を伝える施設等として活用していく		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度から進めている大規模修復工事について、令和5年度は6月に主屋の修復が完了し、長屋門等の修復工事に着手した。 一般社団法人日本庭園協会、市民ボランティアの協力を得て、庭園の中低木剪定を行った。 松ヶ岡の建物や歴史、地域発展に寄与した山崎家の功績等の周知のため、毎月第4土曜日の一般公開や団体見学受付を行い、松ヶ岡の文化的価値を発信することに寄与した。 修復工事体験会を開催し、文化財建造物の修復を実際に体験していただく機会を創出した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	修復費用は寄附金で賄うため、引き続き周知・啓発を進め、寄附金を募っていく。		
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.224)



庭園樹木剪定の様子



団体見学(大学生)の様子



一般公開の様子



修復工事体験会の様子

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
横須賀城跡復元・活用事業		現在の状況	
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 史跡等購入費国庫補助金、静岡県文化財保存費補助金

計画に記載している内容 現在は史跡指定地内の公有化を主に進めているが、未整備の部分については整備基本計画に基づき、発掘調査を行い、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡指定地内の公有化を実施し、6筆、3,701.9㎡の土地を取得した。公有地の面積は131,713.73㎡となり、史跡指定地面積の78.2%が公有化された。
 史跡横須賀城跡の保存管理、整備、活用の方針をまとめる保存活用計画の策定に着手した。

進捗状況 ※計画年次との対応

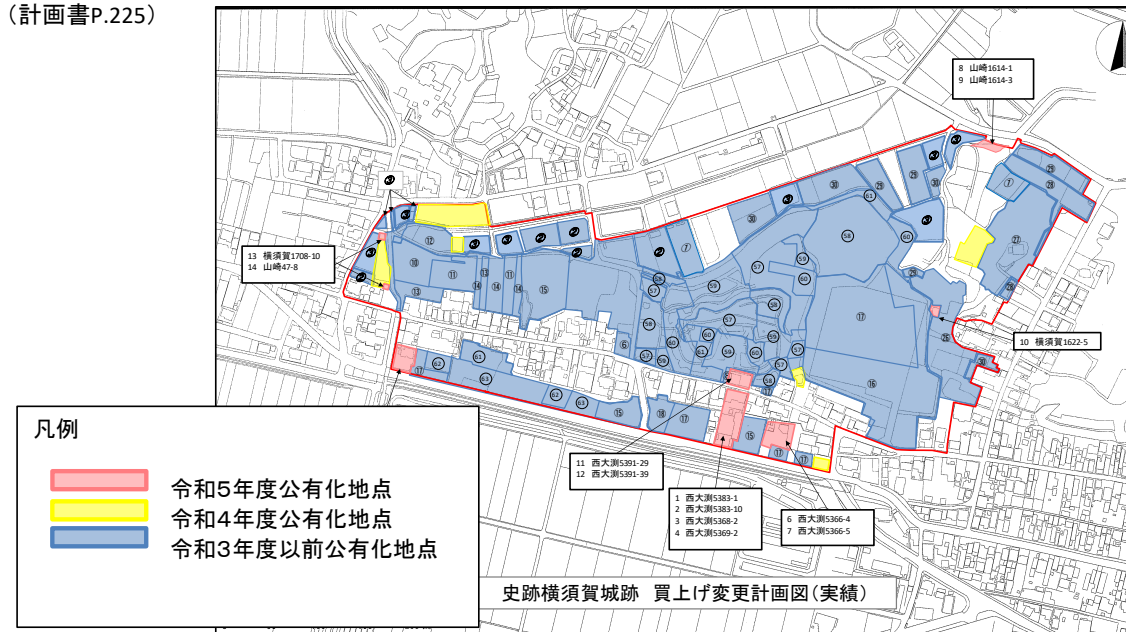
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

令和5年・6年度の2ヶ年で横須賀城跡の保存活用計画を策定した上で、整備内容・スケジュールを調整し計画的に推進していく。

状況を示す写真や資料等

(計画書P.225)



令和5年度 史跡横須賀城跡保存活用計画策定委員会

評価軸③-5

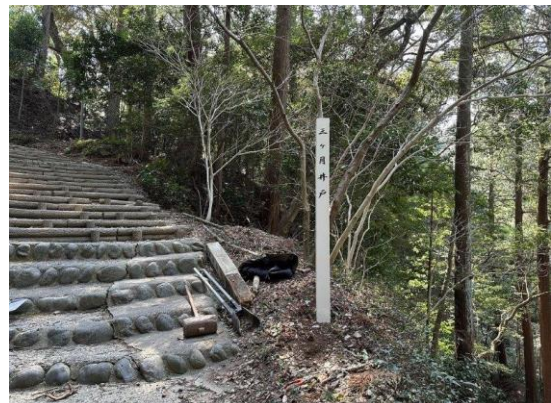
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
高天神城跡復元・活用事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成10年度～令和8年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金、静岡県文化財保存費補助金及び市単独事業		
計画に記載している内容	基本整備計画に基づき、発掘調査終了部分については、基本設計、実施設計を作成した後、整備を進めていく。それと並行して、未調査部分の発掘調査を実施していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度は城跡内標柱の交換修理を行った。また令和4年度に制作したAR(拡張現実)・VR(仮想現実)アプリや城跡内に設置した案内看板を活用し、「学芸員と巡る！掛川三城ツアー」を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		市内には高天神城跡の他に2つの史跡があり相当な時間と費用がかかることから、整備スケジュールを調整し計画的に推進していく。	
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.226)



標柱交換前



標柱交換後

標柱交換修理



「学芸員と巡る！掛川三城ツアー」開催

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
高天神六砦「中村砦」保存・活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成28年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中村砦敷地の一部を市が買収、残りの用地を寄附受領した。地域住民が中心となり竹等を伐採し、環境整備が始まった。史跡として保存し、市と地域が協働により活用していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域住民が中心となって組織された、中村砦城山保全会による環境整備が平成29年度から行われている。令和5年度には中村砦城山保全会と市の協働により、地元の小学生に歴史講座を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	倒木、樹木の成長による周辺への障害が増加傾向にある。 地域ボランティアと連携した定期的な整備、剪定・伐採を行っていく。		
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.227)			
			
中村砦遠景		砦樹木の生長	
			
歴史講座		講座テキスト	

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
郷土芸能・伝統行事伝承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成17年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	貴重な郷土芸能や伝統行事の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、郷土芸能等の様子を留め、後世にもその姿を知ることができるよう、報告書を作成し記録として残す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中八坂神社の祭典は中止したが、令和5年度は再開した。 県指定無形民俗文化財「三社祭礼囃子」に関し、伝承のための道具新調事業の一部を補助した。市指定「垂木の祇園祭」保存会は獅子頭の新調保存事業を行った。これまでの獅子頭を保存継承していくため、獅子頭を新調し、事業の一部を補助した。 それぞれの保存会に対して、保存伝承や後継者指導養成活動に対する事業費の一部を補助した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.228)			
			
垂木の祇園祭(獅子頭)			
			
大東町八坂神社の祇園囃子と祭礼行事			

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
三熊野神社大祭調査研究事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成17年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、静岡県文化財保存費補助金		
計画に記載している内容	県指定の無形民俗文化財である「三社祭礼囃子」及び「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存伝承のための維持管理と後継者指導養成研修などの事業費の一部を補助する。また、江戸時代の祭りが色濃く継承されていると考えられているが、文化財としての価値が一部明確になっていないため調査研究を進める。		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
静岡県指定無形民俗文化財である、「三社祭礼囃子」、「三熊野神社の地固め舞と田遊び」の保存会に対し、保存伝承と後継者指導養成の為の事業費の一部を補助した。 平成30年度に国の記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択された「三熊野神社大祭の祢里行事」の民俗文化財調査について、令和2年度から5年計画で、国県補助金を活用し実施している。 令和5年度は、大祭における現地調査や道具の調査を実施、調査委員会を開催し、報告書作成の準備を進めた。			
進捗状況※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.229)



大祭調査の様子



天幕調査の様子



調査委員会の様子



道具調査の様子

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況

祭典伝承PR事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
----------	---

事業期間	平成29年度～令和8年度
------	--------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	祭典等行事の説明板等を周囲の景観と調和するように設置し、伝統行事として理解を深めつつ、交流人口の増加を目指す。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度に策定した掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、「掛川城周辺地区公共サイン整備方針」に基づき、一部案内サインの整備を進めた。またサインと景観との調和及び安全性を維持するため、公共サインの定期点検を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

(計画書P.230)評価軸③-24参照:サイン・案内板設置事業

3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。

ただし、掛川市が標識令に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識標や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方角、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

市内関係機関及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。

都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているか否かについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。

サインの設置者
(市内関係機関・公共施設の管理者)

設置計画協議

掛川市都市建設部
都市政策課

報告

掛川市景観審議会

1

サイン基本方針
(抜粋:運用)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
葛布産業振興支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	葛布の需要開発の考察や葛の多方面での利用の調査・研究、葛布の理解を深め後継者の発掘につなげる体験事業、安定的な原料供給と耕作放棄地での栽培等の研究・調査を行う。また、葛布の文化的価値や葛の利活用を市内外に発信し、誘客や消費の拡大を図り後継者の発掘、育成や地域経済の活性化に繋げる。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に設立した「葛布活用コンソーシアム」の活動として、葛布の魅力を発信するために賛同団体である多摩美術大学の協力を得て、葛布壁紙を使用したキャンバスで学生に美術作品を制作してもらい、掛川中央図書館にて展示会を実施した。併せて、葛布の外郭団体の作品と織元の製品の展示や葛布製品の工程をビデオ上映するなど、内外に広く情報発信することができた。また、葛布の魅力を直接感じてもらうために、葛の採取から織りまでを体験できるツアーを実施した。他にも、葛を活用した葛の名刺台紙を賛同団体へ販売しており、市役所においても職員向けに常時販売を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.231)      			
中央図書館で開催した展示会 (葛布アートギャラリー)		葛布づくり体験ツアー	

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
茶手揉み技術伝承事業			現在の状況
			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 手作業でしかわからない、茶の手揉みによる良質な荒茶製造技術を伝える。また、地元の幼稚園や小学校の生徒たちに茶摘み体験や手揉み体験の機会を設け、市を代表する伝統産業である茶への理解を深める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内小学校を中心に、茶の手揉み技術伝承と茶について学習会を行い、継続的に子どもの茶への関心と理解を深めている。掛川茶手揉保存会は、令和2年から令和4年まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学習会は中止していたが、令和5年度から市内小学校5か所で学習会を再開。一方、大城手揉み保存会は令和元年以来の高天神での新茶手揉みを実施。そのほか、講習会や競技会、品評会出品茶の製造等を行い、手揉技術の研鑽を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

(計画書P.232)

掛川茶手揉保存会

実施日	内 容	出席者
令和5年11月2日	手揉み体験	掛川市立原田小学校
令和5年11月9日	手揉み体験	掛川市立第二小学校
令和5年11月15日	手揉み体験	掛川市立西郷小学校
令和5年11月21日	手揉み体験	掛川市立曾我小学校
令和5年12月4日	手揉み体験	掛川市立中央小学校
令和4年 令和3年 令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、手揉技術実演の活動は中止	
令和元年	手揉技術実演	掛川市内小学校11校

大城手揉み保存会(後継者養成事業)

実施日	内 容	出席者
令和5年3月22日	高天神新茶手揉み	5名
令和5年8月18日	標準揉み研修会	5名
令和5年9月12日	大坂小学校3年生茶手もみ体験	5名
令和5年12月15日	標準揉み研修会	3名
令和4年 令和3年 令和2年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、お茶の手揉み体験教室は中止	
令和元年	高天神新茶手揉み	10名
	高天神例大祭新茶祭り手揉み実演	5名
	お茶の手揉み体験教室	小学校3校143名



茶の手揉み技術伝承と茶について学習会 実施状況

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
掛川茶マイスター認定制度推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成22年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	お茶の知識や掛川のお茶に深く精通し、掛川茶を美味しく淹れることができるスペシャリストを「掛川茶マイスター」に、その人が携わる店舗を「おいしい掛川茶が飲める店」に認定する。さらに、美味しい掛川茶マップの作成、美味しい掛川茶が飲める店スタンプラリーなどを実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成22年から始まった「掛川茶マイスター」認定制度は、現在79名が認定され、37店舗でマイスターが淹れたお茶を飲むことができる。平成29年度から平成30年度にかけてスタンプラリーを実施した。(令和5年度は認定実績なし)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		マイスターが入れたお茶を飲むことのできる店舗の紹介は、ホームページで継続的に実施しているが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、新規認定を行えていない。令和5年度は改めて「おいしい掛川茶が飲めるお店」としての登録継続の意向を調査した。今後は調査結果をもとに制度の見直しを検討していく。	
状況を示す写真や資料等			

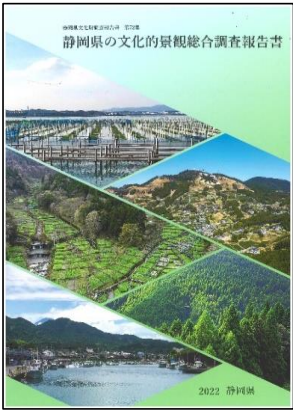
(計画書P.233)



掛川茶マイスターが淹れる掛川茶が飲める店MAP
 (掛川茶商協同組合HP)
<http://www.kakegawa-cha.com/meister.html>

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
重要文化的景観の調査研究事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	世界農業遺産認定地域を対象に、文部科学省が所管する重要文化的景観の選定に向けた調査研究を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
静岡県文化的景観総合調査事業が静岡県事業として令和2～4年度かけて実施され、令和4年度には『静岡県の文化的景観総合調査報告書』が刊行された。令和5年度には『掛川市文化財保存活用地域計画(案)』に未指定文化財把握調査事業を位置付けた。今後、計画をもとに重要文化的景観の調査を進める。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
(計画書P.234)  候補地の状況(東山地区)  静岡県による文化的景観現地調査の様子  『静岡県の文化的景観総合調査報告書』		

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	生涯学習や総合学習などにおいて、広く市民に掛川道徳に関する学習機会を提供し、学校教育との連携も図りながら、市民の郷土や報徳の教えに対する関心を深める。

本市ならではの題材や人材を活用し、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を「かけがわ道徳」とし、小中学生を対象に、歴史や文化等を通じて郷土を誇る心を育てている。市内全小中学校において、年間35時間の道徳のうち、10%程度を「かけがわ道徳」として扱い、郷土読本(副読本)を活用したり、大日本報徳社などの施設に出向いたりするなど、地域の偉人、歴史や伝統等を選び、地域に興味と誇りを持つ機会とした。(小・中学生、園児訪問実績 R5:24校園・867人、R4:30校園・696人、R3:27校園・642人、R2:10校園・595人、R1:24校園・1415人、H30:26校園・2,170人)

状況を示す写真や資料等

この人に学びたい

―― 掛川の人々もがたり ―

写真：「大正時代、掛川市街を歩いた人々」 一宮正二氏

掛川市教育委員会

掛川の教科書

○道徳教育の発信・共有（授業公開・学校だより・懇談会等）

中学校区学園化構想

かけがわ道徳構想図

第3学年 かけがえのない授業		
1	主題	自分のこととはじ（内閣府C-2（133）施設・公共の精神）
2	資料名	『金次郎の心』（田島久）はどなか〜金次郎の心〜
3	本時の目標	金次郎の心についてあらわしたかった気持ちや考えを文章を通して、みんなの心へ伝えたいことを実現、達成できたとする心を育むこと。
4	学習過程	① 金次郎の心についてどんなことかを知っていますか。 ② 金次郎の心についてどんなことか。 ③ 金次郎の心についてどんなことか。 ④ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑤ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑥ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑦ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑧ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑨ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑩ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑪ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑫ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑬ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑭ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑮ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑯ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑰ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑱ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑲ 金次郎の心についてどんなことか。 ⑳ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉑ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉒ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉓ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉔ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉕ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉖ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉗ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉘ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉙ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉚ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉛ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉜ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉝ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉞ 金次郎の心についてどんなことか。 ㉟ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊱ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊲ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊳ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊴ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊵ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊶ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊷ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊸ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊹ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊺ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊻ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊼ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊽ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊾ 金次郎の心についてどんなことか。 ㊿ 金次郎の心についてどんなことか。

授業案(一例)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
城下町風街並みづくり事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成3年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地区計画区域において、建築物の修景に要する費用の助成、中心市街地活性基本計画等との整合を図り、同地区の城下町風街づくりを推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市計画法に基づく「城下町風街づくり地区計画」と連携し、掛川城を背景とした街並みの形成を図るため、建築行為等において、基準に適合するものに対し、100万円(対象事業費の1/2)を上限に補助する。平成3年度から延べ95件(令和5年度実績なし)。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.236)



補助事例(清水銀行)



補助事例(民間店舗)

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
横須賀景観整備機構運営支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成26年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	景観形成重点地区において、建築等の行為の際に、外観のデザイン等について、地域住民等で構成される横須賀景観整備機構の審査や助言を受けることにより、地域に合った景観を保全していく。現在は任意団体であるが、景観法に基づく指定を目指し、地域住民が主体となった景観形成を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「遠州横須賀街道沿道景観重点地区」において、建築行為が計画された際には、「横須賀景観整備機構(任意団体)」による建築物の外観デザイン審査が行われ、協議が整ったもののみ、市に景観形成重点地区行為届出書が提出される仕組みが取られている。横須賀景観整備機構と連携し、当該地区の街並みの維持が図られた。平成26年度から延べ18件(令和5年度実績4件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.237)



認定式(平成26年)



発足式(平成28年)



啓発パンフレット・ステッカーの配布



ステッカー

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

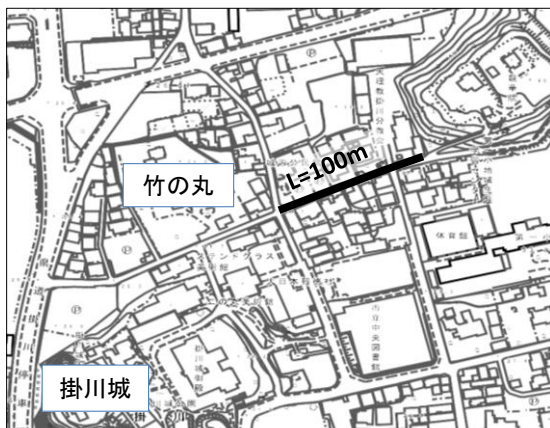
令和5年度		評価対象年度
項目		現在の状況
掛川城周辺電線地中化、道路美装化及び街路灯修景事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業	
計画に記載している内容	掛川城周辺において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、電線地中化及び道路修景整備を実施し、景観形成を行うとともに城内の賑わいを取り戻し観光振興を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
大手門周辺の道路美装化工事が予定通り完了、工事期間中には、職員を対象とした工事見学会を実施し、歴史的な街並みに調和した整備手法についての理解を深めた。 掛川城周辺の無電柱化事業は令和4年度に詳細設計を実施、関係事業者との協議、関連事業との調整の結果、実施箇所の見直しを行った。令和5年度は電線共同溝の工事に着手、令和6年度に完了予定。 (道路美装化: 令和2年度: 実施設計、令和3年度: 整備工事 L70m、令和4年度: 整備工事 L70m) (無電柱化: 令和3年度: 予備設計、令和4年度: 実施設計、令和5～6年度: 整備工事)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

(計画書P.238)



道路美装化前

道路美装化後
(大手門交差点)

無電柱化予定位置図



関係課による工事見学

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
横須賀街道電線地中化及び美装化事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	掛川市景観形成重点地区の横須賀街道において、歴史的な街並みに調和した空間の整備を図るため、無電柱化、道路舗装の美装化及び道路構造物(道路側溝等)の改修を行い、景観形成と観光振興を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に道路舗装の美装化や無電柱化を含むまちづくりに関する意見交換を景観形成重点地区5自治区の住民と行い課題の整理を行った。令和4年度には、整理した課題をもとに、今後のまちづくりの方向性について考えるワークショップを計3回実施し、目指すべき将来像を「遠州横須賀街道まちづくりビジョン」としてまとめた。令和5年度はビジョン実現に向けた組織である「まちづくり検討会議」を発足。令和6年度以降は、ビジョン実現に向け、具体的な事業の検討を進める。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.239)



ワークショップの様子

遠州横須賀街道沿道地区のまちづくりの将来像(案)



まちづくりビジョン 抜粋

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
粟ヶ岳周辺における景観形成推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	農業用施設の色彩等の配慮すべき事項、茶草場農法や魅せる農業の推進などを盛り込んだ景観計画を、東山地域の住民と意識共有しながら策定する。また、ビュースポットからの眺望を阻害する電柱移転や防霜ファンの色彩調和、粟ヶ岳登山道のガードレールの改善を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
茶草場テラスオープン以降ハイキングコースの利用者が増加傾向にあり、ビュースポットの活用や、地元住民が茶草を使った干支を作り上げるなどの活動を通じて多くの市民や観光客の茶園景観への関心を高めることに寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.240)



粟ヶ岳山頂のかっぱしテラスと東山大茶園



乾燥した茶草でつくられた干支

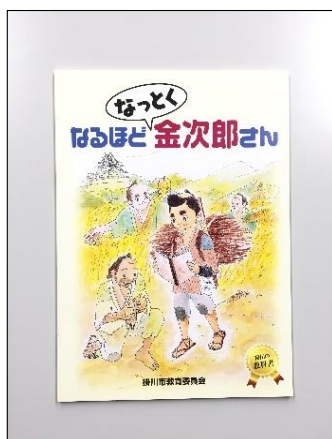
評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

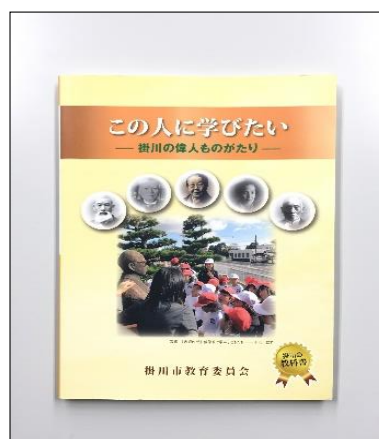
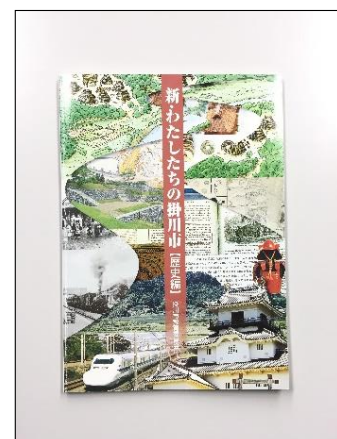
項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
郷土読本作成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	継続事業		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内小中学生を対象に、掛川の歴史、伝統文化や郷土の偉人を学び、地域に興味と誇りを持つ学習を継続的に行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「なるほどなっとく金次郎さん」「この人に学びたいー郷土の偉人ものがたりー」「新・わたしたちの掛川市(歴史編)」及び、令和5年4月に更新した「わたしたちの掛川市」を活用し、本市の歴史等に興味と誇りを持ち、学びを深める授業を小中学校で行った。令和6年4月の更新に向け、写真や最新データの追加や差し替えを行うなどして内容の充実を図り、郷土読本「わたしたちの掛川市」の編集作業に取り組んだ。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.241)



なるほど なっとく 金次郎さん

この人に学びたい
ー郷土の偉人ものがたりー

新・わたしたちの掛川市「歴史編」



わたしたちの掛川市(令和6年4月更新)



評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

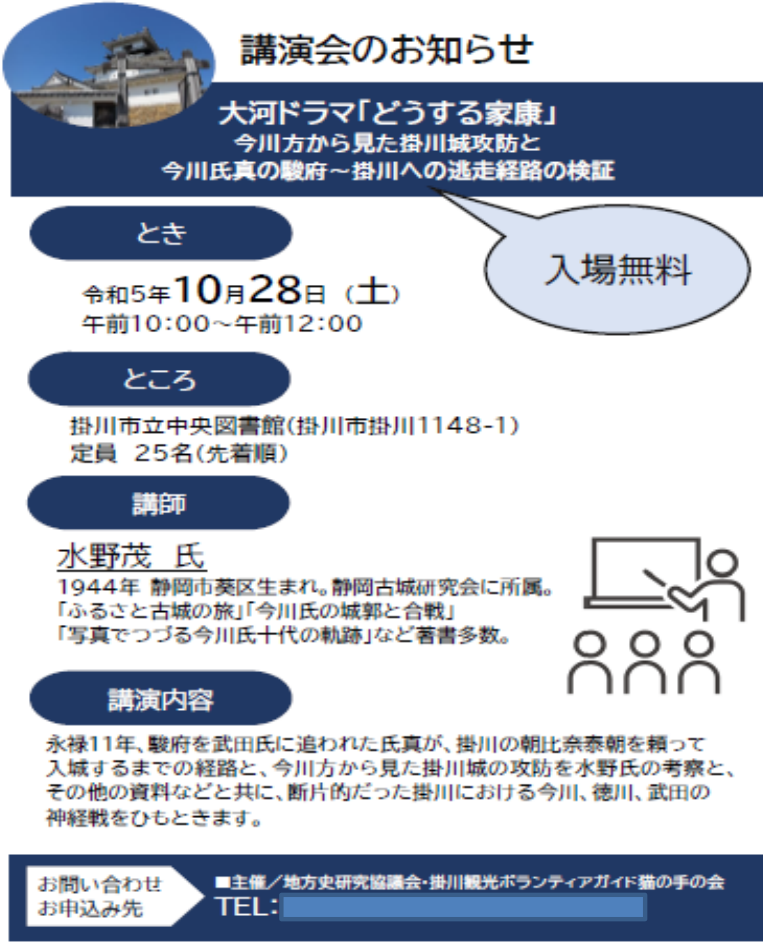
評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
文化財展の開催事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	市民が文化財を身近に感じ、郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらうため、一般市民を対象とした「出土文化財展」、「考古展」及び遺跡の現地説明会、小・中学生を対象とした「出前文化財講座」、「夏休み文化財教室」を開催する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和5年度に開催した文化財展等の期間等及び参加人数 出土文化財展(11日間、837人)、出前文化財講座(7校、526名)、 大須賀歴史民俗資料館「学習活用の日」(8校、417名) 埋蔵文化財センター展示替え「発掘された掛川の城郭」(314名)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	出土文化財展(5日間)、考古展(5日間)と年間2回の展示会を開催していたが、令和元年度から出土文化財展の期間を延長し、展示会の開催を年1回とした。また、本年度は大河ドラマの放映に合わせて、市内の城郭に焦点を当てた埋蔵文化財センターの展示替えを行った。	
状況を示す写真や資料等		
(計画書P.242)		
 出土文化財展 (令和5年6月7日-令和5年6月18日)  出前文化財講座「掛川三城を巡る」 (令和5年11月22日)  埋蔵文化財センター展示替え 「発掘された掛川の城郭」  大須賀歴史民俗資料館「学習活用の日」 (令和6年2月1日／中小学校)		

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
市内の歴史・文化資産のガイド養成事業			現在の状況 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史・文化資産の案内ガイドを養成し、観光客への案内が容易に出来る人材育成に取り組むとともに組織化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
掛川観光ボランティアガイド「猫の手」が先進地視察を行うことでボランティアガイドを養成し、観光客の利便性や、満足度の向上につなげている。令和5年度は、NHK大河ドラマ「どうする家康」が放送されたことに伴い、講演会を開催した。実施日：令和5年10月28日(土) その他、ボランティアガイドによるおもてなしウォークとして令和5年度は東山地区を巡るイベントを実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新規会員の募集は随時行っているが会員数は横ばいである。また、会員の高齢化に伴い案内できるガイドが固定化してきている。 自らが住む地域の歴史を知ることは郷土愛や誇りの醸成につながることから、市民ボランティア等を養成する歴史講座を実施したり、学校協力のもと、子ども向けの歴史や地域学習の機会を設けるなど検討をしていく。(掛川市観光振興計画より)	
状況を示す写真や資料等			

(計画書P.243)



講演会のお知らせ

大河ドラマ「どうする家康」
今川方から見た掛川城攻防と
今川氏真の駿府～掛川への逃走経路の検証

とき
令和5年10月28日(土)
午前10:00～午前12:00

ところ
掛川市立中央図書館(掛川市掛川1148-1)
定員 25名(先着順)

講師
水野茂 氏
1944年 静岡県葵区生まれ。静岡古城研究会に所属。
「ふるさと古城の旅」「今川氏の城郭と合戦」
「写真でつづる今川氏十代の軌跡」など著書多数。

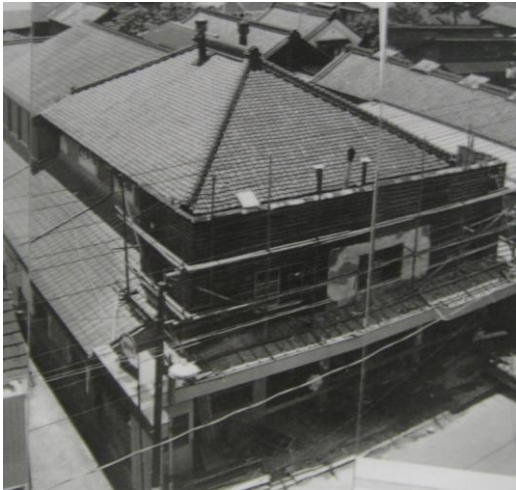
講演内容
永禄11年、駿府を武田氏に追われた氏真が、掛川の朝比奈泰朝を頼って入城するまでの経路と、今川方から見た掛川城の攻防を水野氏の考察と、その他の資料などと共に、断片的だった掛川における今川、徳川、武田の神経戦をひもときます。

**お問い合わせ
お申込み先** ■主催/地方史研究協議会・掛川観光ボランティアガイド猫の手
TEL: [REDACTED]

ボランティアガイドによる
講演会開催のお知らせ(令和5年度)

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
掛川銀行復元・活用事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成31年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	明治13年に設立した当初の姿を復元するため、明治18年の2代目掛川銀行の解体直前の写真や建物概要の記録などをもとに調査、検討を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
郷土史家等と連携し、松ヶ岡に関する史料の整理や研究を進め、掛川銀行復元に向けての調査研究を行っている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.243)			
 			
市民有志による史料整理の様子			
			
解体直前の2代目掛川銀行の様子			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
サイン・案内板設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業		
計画に記載している内容	万人にわかりやすいグローバルデザインのものに統一した、歴史文化・観光資産の紹介や案内看板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度に策定した掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、「掛川城周辺地区公共サイン整備方針」に基づき、一部案内サインの整備を進めた。またサインと景観との調和及び安全性を維持するため、公共サインの定期点検を行った。 (令和3年度:実施設計、令和4年度～令和6年度:整備工事)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.244)

3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。

ただし、掛川市が標識令に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識類や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方角、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

庁内関係課及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。

都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているかどうかについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。

サインの設置者
(庁内関係課・公共
施設の管理者)

設置計画協議

掛川市都市建設部
都市政策課

相談

掛川市景観審議会

サイン基本方針
(抜粋:運用)



整備したサインの一部

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
レンタサイクルの推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	公共交通機関と連動したレンタサイクルについて、案内チラシなどによる周知、モデルコースの提案などにより、利用者の拡大を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
平成31年3月策定の「掛川市観光振興計画」において、掛川駅から掛川城等の主要観光施設の周遊を促すための、レンタサイクルの継続実施と利用促進が位置づけられており、計画的にレンタサイクルの利用者の拡大が図られた。掛川駅北駐輪場及び大手門駐輪場において無料で運用されている。観光客数の回復基調に伴い、貸出数は令和4年度は764台に対し、令和5年度はR6.2.29現在656台となっている。	

進捗状況 ※計画年度との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.244)

基本方針8に基づく取組

基本方針⑥ 掛川に行きやすい、周りがしやすい環境を整える

取組の柱(1) 広域交通の利便性の向上

具体的な取組① 富士山静岡空港からのアクセスの確保

- 「富士山静岡空港」利用者が本市を訪れやすいように、空港と「掛川駅」を結ぶ交通手段の確保を図ります。
- 空港や「静岡空港」への交通アクセスの向上及び「リニア中央新幹線」開通を見据え、「東海道新幹線掛川駅」への「ひかり」の停車について促進していきます。

具体的な取組② 広域道路の整備

- 広域の交通・交流を促す交通網の構築のため、国や県、市が連携し、国道1号バイパス(掛川・日坂)、国道180号、県道静岡掛川線の4車線化を促進します。
- 高速道路を含む広域幹線道路間のネットワークとなる富士山静岡空港や小笠山総合運動公園等を結ぶ東・西横断道路の整備を促進します。
- 東名高速道路及び新東名高速道路へのスマートIC設置について、可能性を検討します。

取組の柱(2) 地域間の交通利便性や周遊性の向上

具体的な取組① 地域間道路の整備

- 地域間の道路網を強化するため、県と市が連携し、地域間幹線道路である、穴須賀ルート、大東ルート、掛川一御前崎ルートなどの整備を促進します。

具体的な取組② 公共交通によるネットワークの強化

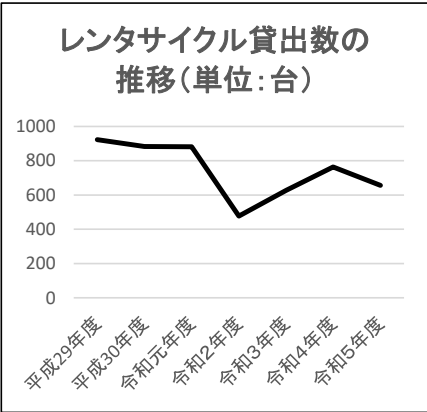
- 主要なバス停などを交通結節点とし、観光案内と公共交通の運行案内を一元的に提供する場を創出するなど、中心市街地・掛川駅と各地域の公共交通によるネットワークを強化します。
- 中心市街地は大型バスの駐車場が少ないため、これら駐車場の確保を検討していきます。

具体的な取組③ サイクリング環境の向上

- 掛川駅でのレンタサイクルの実施を継続するとともに、他の交通結節点や主要観光施設においても周辺への周遊を促すレンタサイクルの実施を推進します。
- 「バイク・フレンドリー・ステーション」(p.36 参照)の設置に加えて、観光施設、飲食店、宿泊施設における安全な駐輪スペースの確保、自転車用ロードマップの作成などを進めます。



大手門のレンタサイクル



平成31年3月策定「掛川市観光振興計画(抜粋)」

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
掛川公園と周辺整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和8年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	掛川の歴史・文化ゾーンの中心である掛川公園及び三の丸広場におけるベンチ等休憩スペースの確保などの公園整備、周辺道路の歩道拡幅、街灯や公共サインの修景など、周辺環境を整備し賑わいを創出する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度に、まちなかウォーカブル推進事業の中で、有効な活用方法の検討を行い、令和3年度は、まちなかウォーカブル推進事業の中で、社会実験「かけがわストリートテラス」を三の丸広場及び連雀西交差点の歩道で令和3年11月～令和4年3月まで実施した。令和4年度は、掛川公園周辺やまちなかをゆっくりと周遊・散策できるよう大手門駐車場を2時間無料にする社会実験を実施し、賑わい創出に繋がるか検証した。令和5年度は、社会実験「かけがわストリートテラス」を連雀西交差点の歩道で継続するとともに、まちなかウォーカブル推進事業のためのアンケート調査をまちなかの事業者、住民に対して実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

(計画書P.245)



大手門2時間無料社会実験 広報チラシ



社会実験 かけがわストリートテラス 広報チラシ



社会実験 かけがわストリートテラス

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
「土の掛川城、農の報徳社、町人の松ヶ岡」周遊道路整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成31年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 掛川城周辺地区等には、多くの文化財及び文化施設が集中している。これらの施設を連結的に周遊できるウォーキングルートや案内・説明板を整備していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度に策定した掛川駅北側から掛川城周辺の歴史・文化ゾーンにおける、「掛川城周辺地区公共サイン整備方針」に基づき、一部案内サインの整備を進めた。またサインと景観との調和及び安全性を維持するため、公共サインの定期点検を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

(計画書P.246)評価軸③-24参照:サイン・案内板設置事業

3 適用範囲

本方針の適用範囲は、対象区域内において掛川市及び公共施設管理者が道路、公園等に設置する歩行者用の案内サイン、誘導サインとする。

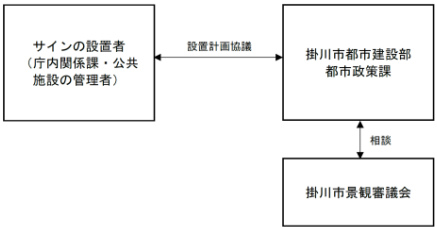
ただし、掛川市が標識令に基づき設置する標識及び国、県等の公共施設管理者が設置する道路標識設置基準等に規定された標識類や、駅構内の独自のサインシステムにおける案内誘導サインなど、すでに一般に広く利用されており、本方針を適用することが難しいものは適用の範囲から除外する。

案内サイン	・地図を活用して現在地や施設等の位置情報を提供する
誘導サイン	・矢印により、地名・地点や施設の方角、距離等を指示する
位置サイン	・名称やピクトグラムにより、施設などの位置を告知する
説明サイン	・施設等の内容を説明する
規制サイン	・歩行者等の行動を規制する

4 運用方法

庁内関係課及び公共施設の管理者は、公共サインを設置しようとする場合、施工前に事前に掛川市都市建設部都市政策課と協議することとする。

都市政策課は、本書に明記している事項と適合しているか否かについて確認し、必要に応じて助言指導する。判断が難しい場合、掛川市景観審議会に意見を求めることもできることとする。



サイン基本方針
(抜粋:運用)



整備されたサインの一部



整備されたサインの一部

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財調査、保存管理(活用)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	市内には105件の有形・無形の指定文化財、4件の国の登録有形文化財、1件の国記録選択無形民俗文化財がある。有形文化財については現状を把握し、適切な保存・活用を実施する。3件の国指定史跡については各保存管理計画に沿って、適切な保存整備を行い、県、市指定の史跡は現状を確認し、適切な対策を講じる。無形民俗文化財については後継者の指導育成等について支援を行うとともに、保存伝承の手助けとするため記録作成等の調査を実施していく。また、未指定の文化財については悉皆調査を実施し、必要に応じて指定等の措置を講ずる。市内の埋蔵文化財包蔵地については、文化財保護法に基づき適切な保存措置を講じていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国史跡の内、高天神城跡について、ARVRアプリの設置・活用を行った。横須賀城跡については公有化事業を進めている。和岡古墳群の内、吉岡大塚古墳については、令和5年11月に竣工し、同12月から一般公開されている。 市内の保存会、文化財所有者が行う事業に計8件の補助金を交付し、支援を行った。 国記録選択無形民俗文化財「三熊野神社大祭の祢里行事」は、令和2年度から調査委員会を組織し、民俗文化財調査を実施している。(評価軸③-8参照) 農地造成に伴う本発掘調査を1件、住宅建築等の開発に伴う遺跡確認調査を26件実施した。(令和6年2月28日現在) 未指定文化財については、民俗文化財調査5件、歴史資料調査6件を実施すると共に、市内の未指定文化財把握調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
(計画書P.208~P.215)  史跡吉岡大塚古墳  歴史資料調査(未指定文化財)			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の修理、周辺環境整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理については、日頃の維持管理を含めた予防対策と被害を受けた場合の適切な修理、復旧が求められる。その価値を維持するため、過去の記録などを活用し、新たな調査研究に基づき実施する。所有者の財政的負担の軽減のためにも積極的に各補助制度を活用する。文化財を保存・活用しながら展示できる個別施設や、総合的な情報発信の拠点整備が必要である。また、文化財単体にはみ措置を講ずるのではなく、周辺環境と一体的な措置を講じることが必要である。文化財は災害などにより毀損、滅失する恐れがあることから、個別に防災対策を検討し被災リスクを軽減していくと共に、文化財に対する防災知識の普及、防犯に対する意識の向上なども図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市指定建造物松ヶ岡(旧山崎家住宅)の修復工事を進め、令和5年度は主屋修復が完了し、長屋門等の修復工事に着手した。 (評価軸③-3参照) 市指定無形民俗文化財垂木の祇園祭について、獅子頭を永年保存・継承するため民間財団補助を受け、新調を行った(評価軸③-7参照)。 県指定天然記念物「伊達方の大ヒイラギ」では衰弱している大ヒイラギに対し樹勢回復事業を行い一部を補助した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
長屋門解体工事(松ヶ岡)		伊達方の大ヒイラギ樹勢回復事業	
			
新調された獅子頭(垂木の祇園祭)			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の普及・啓発、防災訓練、団体との連携		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存・活用、普及・啓発のため、統一的な案内板の設置、パンフレットの作成、配布を行うとともに観光ボランティアガイド活動の育成やイベントなどを開催する。また、文化財の展示会や講座などを開催し、市民にとって文化財が身近で必要なものになるよう郷土の歴史・文化・文化財についての理解を深めてもらう。文化財の保存、管理及び活用について行政機関だけで取り組むことは難しく、地域において文化財の保存、管理及び活用に取り組んでいる団体と連携することが必要である。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
一般市民を対象とした「出土文化財展」、小中学生を対象とした「出前文化財講座」を実施した。(評価軸③-21参照)また市内の3つの城をめぐる「学芸員と巡る! 掛川三城ツアー」を開催した。 文化財防火デーに合わせ、県指定建造物「龍華院大猷院霊屋」、重要文化財「大日本報徳社大講堂」で防火訓練を行った。重要文化財「掛川城御殿」においては、通報・避難・消火を含めた実践的な防災訓練等が行われた。 市指定建造物である「松ヶ岡」では、月一回の一般公開に合わせて、地域住民を中心に組織された「松ヶ岡を愛する会」が清掃等を実施している。 また国指定史跡「和田岡古墳群」の美化ボランティア「古墳スマイル隊」が静岡県景観賞の優秀賞を受賞した。 市指定史跡「平塚古墳」の保存会が行う、維持、保全事業に対して補助金を交付した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			



文化財防火デー(掛川城御殿: 令和5年1月26日)



松ヶ岡での清掃活動



「古墳スマイル隊」静岡県景観賞優秀賞 受賞

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
新聞等			
華やか「西郷の局」衣装 掛川城でマルシェ		令和5年4月2日	静岡新聞
掛川の三熊野神社大祭 伝統の三社祭礼囃子を奉納		令和5年4月9日	中日新聞
家康ゆかりの地でスタンプラリー あすから掛川観光協		令和5年4月9日	静岡新聞
高天神城 CGで再現 掛川市 特設HP、アプリ人気		令和5年6月25日	静岡新聞
難攻不落 高天神城(掛川)の歴史解説「どうする家康」時代考証 小和田名誉教授ら3講師		令和5年7月2日	静岡新聞
徳川ら攻防 城郭出土品でしのぶ 掛川埋蔵文化センターで展示		令和5年7月5日	静岡新聞
掛川の「松ヶ岡」主屋の修復完了 市指定文化財		令和5年7月11日	静岡新聞
高天神城、漫画で知って 掛川で「レイリ」とコラボ展		令和5年8月10日	中日新聞
掛川城復元30年で記念事業を検討 来秋、実行委が初会合		令和5年9月8日	中日新聞
例大祭に8町 威勢良く 掛川・事任八幡宮 4年ぶり通常開催		令和5年9月16日	静岡新聞
静岡・掛川市文化財 旧山崎家住宅で庭園整備の専門家ら剪定		令和5年9月22日	中日新聞
祭典「ちいねり」24日まで 静岡・掛川の横須賀地区		令和5年9月24日	中日新聞
「マイクラ」に高天神城現る!!		令和5年10月3日	中日新聞
掛川茶都内でPR 茶草場農法を説明		令和5年10月6日	静岡新聞
「浦安の舞」児童戯かに 掛川祭開幕		令和5年10月7日	静岡新聞
秋祭り 遠州活気 夜も華やぐ城下町 掛川祭		令和5年10月8日	静岡新聞
掛川の茶園で茶草場農法学ぶ 聖隷クリストファー小		令和5年10月16日	静岡新聞
横須賀“アート”街道に あすまで 掛川 絵画や陶芸ずらり		令和5年10月21日	静岡新聞
掛川で記念式典「ユニークな仕組み 次代へ」ー世界農業遺産認定10年		令和5年10月21日	静岡新聞
茶草場の認知度向上目指す 掛川で式典		令和5年10月24日	中日新聞
「吉岡大塚」復元 埴輪とお祝い 和岡古墳群 掛川		令和5年11月7日	静岡新聞
掛川市 未指定文化財の調査重点 散逸、消滅防止 保存活用で計画案		令和5年11月8日	静岡新聞
買い物とアート楽しむ 掛川・横須賀城跡でマルシェ		令和5年12月25日	静岡新聞
迫力の”巨大竜”2頭出現 来年の干支 住民制作 掛川・粟ヶ岳 山頂と登り口 稲わらや茶草を使用		令和5年12月31日	静岡新聞
4月に天守復元30年 掛川城”お茶カラー”記念ロゴマーク決定 市民投票で最多4割支持		令和6年1月13日	静岡新聞
凧作り、親子思い思いに 掛川・遠州横須賀凧揚げまつりで		令和6年2月5日	中日新聞
掛川城の記念事業拡大実行委開催イベント協力市民に求める		令和6年3月1日	静岡新聞
掛川城 火災から守れ 文化財防火デー御殿で訓練		令和6年3月6日	静岡新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史的風致に関連する施設や行事の特集や、今後に繋がる取組が報道されたことにより、市民等への本市の歴史まちづくりの周知が図られたとともに、関心を高めることができた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

観光の振興

計画に記載している内容 関連計画「掛川市都市計画マスタープラン」において、「観光資源や歴史・文化的資源を活かしたまちづくり」が将来都市像に位置付けられている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

観光ニーズが多様化するなか、本市の特性や資源を活かした個性光る観光に取り組み、交流人口を拡大し観光振興さらには地域活性化に繋げるため、平成31年3月に掛川市観光振興計画を策定した。

観光交流客は、景気低迷や地震、冷夏長雨の影響により、平成20年度(3,896千人)から平成22年度(2,929千人)にかけ大きく減少した。その後は概ね増加傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルスの流行が影響し(2,768千人)にとどまった。令和3年度は回復基調により若干の増加(2,955千人)に転じ、令和4年度コロナ禍前と同等数(3,834千人)となった。

掛川城入館者は、平成20年度以降、毎年10万人程度で推移していたものの、平成25年度から増加に転じた。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により大きく減少(55千人)し、令和4年度まで低調の状態が続いた。

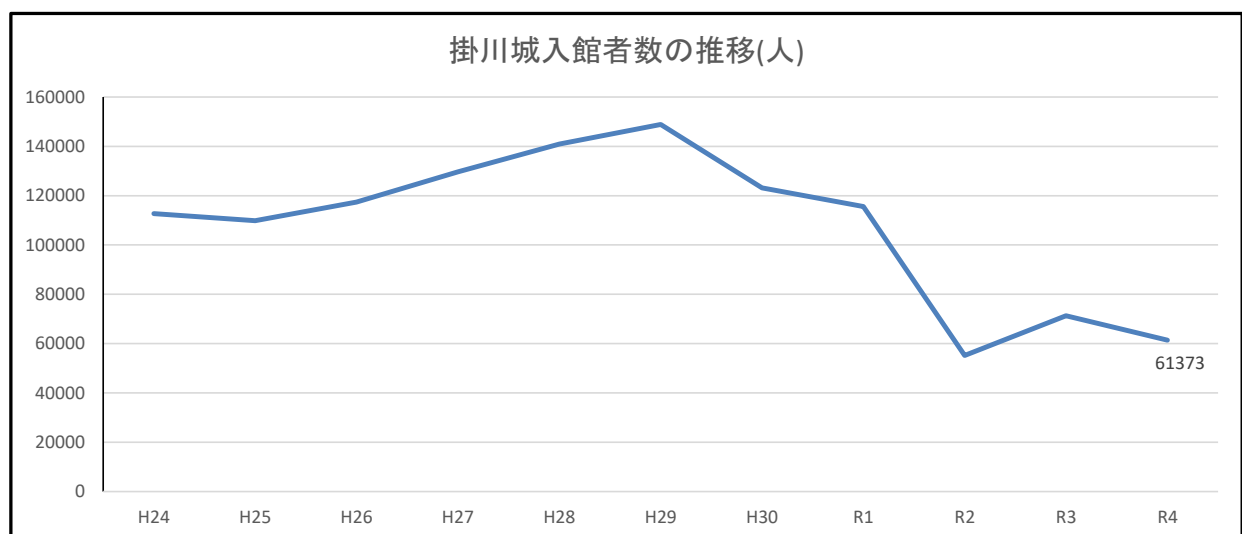
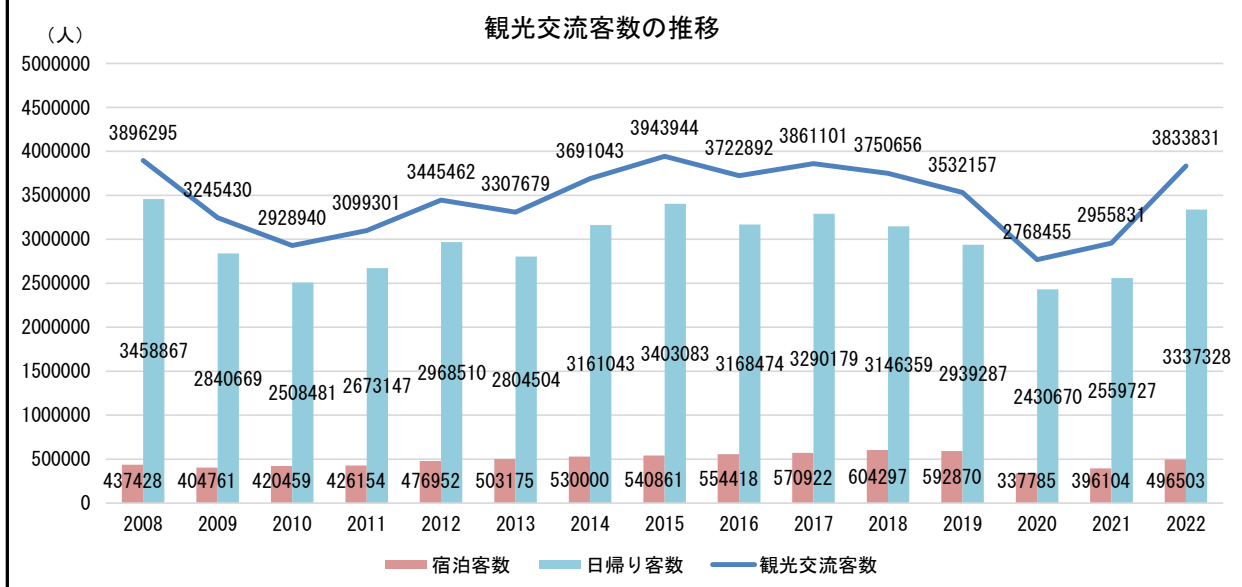
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
会議等の 令和6年4月18日(木)午後3時～5時 開催日時: (コメントの概要) 【①組織体制】 ・特になし 【②重点区域における良好な景観を形成する施策】 ・特になし 【③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項】 ・祭典における交流人口の増加という目標達成のためには、動線や情報を検討し、戦略的に公共サインと連携させていくことが必要。 ・レンタサイクル推進事業について、スポット間の周遊ルートの設定等により、戦略的な展開をしていくとよい。また南部も含めて展開し、全市的にPRをしていくとよい。 【④文化財の保存又は活用に関する事項】 ・特になし 【⑤効果・影響等に関する報道】 ・特になし 【⑥その他(効果等)】 ・特になし 【全般に関すること】 ・事業の進捗を評価するにあたって、達成度を数値化して、最終的な目標に対してどの程度進捗しているかが分かるとよい。 ・個別事業の目標だけでなく、複数の事業間での目標を設定するなど、独自の評価軸があるとよい。 ・事業の進め方について、薄く広くすべての事業を進めていくのではなく、メリハリをつけて事業を進めていくのもよいのではないか。 ・事業の進捗を評価するにあたって、事業間の関連だけでなく、時代の流れを含めた関連が分かる評価になるとよい。 ・最終的に市民に向けて取り組みの成果を伝える場があるとよい。 (今後の対応方針) ・従来の事業ごとの進捗管理・評価に加え、事業間の連携による進捗評価や達成度合いの可視化等についても検討していく。 ・レンタサイクルの展開について検討を進めていく。 ・祭典の交流人口の増加や重点地区から外部への誘導等について、公共サインも手法の一つとして幅広く検討していく。	